

みてみて

発行／
播磨町社会福祉協議会
ボランティア・センター
〒675-0147
播磨町南大中1-8-41
☎079-435-1712
H26.3.24発行

受賞おめでとうございます!

ボランティアセンター登録団体のうち、25年度の各種受賞報告をいたします。地域住民を対象に、日頃から活動に励んでこられた結果が実を結びました。受賞された皆さまおめでとうございます!

ひょうご県民ボランティア活動賞

…県民の為にされる自発的な活動を継続して行い、他の模範となる活動を行った個人や団体等を表彰するもの〔下記2団体〕

あすなろ

不要となった古着や毛糸を活用して洋服や小物に作り替え、住民に対して販売しています。収益は社会福祉協議会にご寄付いただいております。



点訳ボランティア ほほえみ

町内の視覚障害者に対し、小説や交通機関の時刻表、その他依頼に応じて点訳活動を行っています。



兵庫県くすのき賞

…ボランティア活動等を通じ、心ゆたかな地域社会づくりに貢献した団体を表彰するもの〔下記3団体〕

はりま藤の会

介護施設等で、曲に合わせて着物の帯を結んでいく「帯舞」というショーや、銭太鼓の演奏などを行っています。

播磨マジッククラブ

介護施設等におけるマジックショーの他、マジックの面白さを知ってもらうために、小学生を対象にしたマジック教室も行っています。

なでしこの会

高齢者や子育て中の親子を対象に、手芸やおしゃべりをしながら楽しく集えるサロンを開設しています。



受賞者を代表し「はりま藤の会」が壇上に上がりました



「ボランティアの集い2014」開催!

1月18日(土)、ボランティアの集い2014を開催いたしました。第1回目を平成12年に開催し、今回で第14回目となるこの「集い」。これは、町内で活動されているボランティアの方々、民生委員児童委員・民生協力委員の方々、ボランティアに関心のある方々が一同に集まる会として年に一度開催しております。

事前に開催のご案内をさせていただきましたが、申込みされていた方だけでなく、当日参加の方もたくさんおられました。その結果、約200名という大勢の皆さまにご参加いただくことができました。

講演テーマ「笑いで健康づくり」

今回の講師は、腹話術師「やない かつこ」氏をお招きしました。

やない氏は阪神淡路大震災の年から腹話術を習い始め、2007年A&Oオールスターズとして公演を開始。アメリカケンタッキー州の世界腹話術大会などにも参加されました。2010年にプロとして独立。その後は「自宅でも教室を開講されたい」と活動は多岐に渡ります。

今回はやない氏にボランティアを楽しみ続けるための活力ともなる、「笑い」を交えたユーモアたっぷりの講演をしていただきました。

まず始めは、やない氏が魅せる、人形とおしゃべりです。参加者は「上手いな」「どうやってしてるのかな」と興味津々の様子で、一気に会場は盛り上がりです。

また、参加者の中から二名舞台上に上がってもらい、やない氏のパフォーマンスを体験してもらったり、人形に見立てたカラフルな手袋を全員装着し腹話術をやってみるといった、一緒に楽しめる内容が特に好評でした。手を動かしながら、口は動かさずしゃべることには実際体験してみてもやっばりなかなか難しかったのではないのでしょうか。

やない氏は、口を動かさないことに重点を置き過ぎるよりも、参加者と一緒に巻き込んで人形と楽しいおしゃべりをして笑いのムーブメントを起こすことこそ腹話術の最も大切な部分でもあるとおっしゃっています。

そのとおり、今回の講演会では腹話術を通して会場が一体となり、たくさん笑いを共有されたように思います。

最後に参加者の皆さんにアンケートを記入していただきました。その中で「おもしろかった」「有意義な時間だった」「ボランティアを取り入れたらいいな」というご意見が多かったです。

まさに笑いは健康の源!これからも笑顔で楽しくボランティアを続けていきたいと願っております。



結い・はりま

～少しずつ少しずつ…播磨町に広がっています～

24年度から実施している介護支援ボランティア養成講座ですが、今年は3度実施(夏、秋、冬コース各4回講座)し、計34名修了されました。修了者のうち、活動希望者のみ結い・はりまに登録していただいています。町内のデイサービスセンターやグループホームで、施設を利用されている方と一緒に話したり、レクリエーションを楽しんだりすることを中心に活躍されている結い・はりまの皆さんですが、今年からは個人のお宅においても話し相手として活動されています。

少しずつではありますが、登録者が増えるにつれ活躍の場も広がってきています。



「基礎介護技術」の講座風景



施設での活動風景

★26年度 講座のお知らせ★

- 日時：平成26年6月6日(金)～7月18日(金) 全4回 隔週金曜日に実施 各日 13:30～15:30
- 場所：播磨町福祉しあわせセンター

※上記は「夏コース」となります。同じ内容で、10月に秋コース、翌年2月に冬コースを開講予定です。詳しくは下記までお問い合わせ下さい。

結い・はりま(介護支援ボランティア)とは・・・
播磨町地域包括支援センターが実施しており、地域でのボランティア活動を通じた介護予防(介護が必要な状態とならないようにすること)を目的としています。地域での活動は、元気で健康的なココロとカラダを維持することにもつながります。

お問い合わせ 播磨町地域包括支援センター TEL 079-435-1841

チャレンジ！福祉学習！～学校の取り組み～

町内5カ所（播磨小学校、播磨西小学校、播磨南小学校、蓮池小学校、播磨南高校）を福祉教育指定校として、支援させていただいています。今年度の取り組みの一部を紹介させていただきます。

播磨小学校

播磨小学校3年生のみんなとお年寄りの方との交流事業として、もちつきを行いました。町内在住でもちつきに詳しい方を初め、校区のシニアクラブの皆さんや父兄の方にもご協力いただきました。他にも、わらじや升などの昔使われていた道具について、お年寄りの皆さんに詳しく教えていただきました。

次に、4年生は点訳ボランティアグループ「ほほえみ」の皆さんから点字を学びました。点字の意味やルールを教えてもらったり、実際点字版を用いて一人ずつ点字をうつ練習をしたりとみんな集中して頑張っていました。

点字をうつ作業について生徒からは、「最初はむずかしいなと思ってたけど、慣れると楽しい」との声。チャイムが鳴っても熱心に取り組んでいた生徒もいました。

そして5年生は体育館で車椅子の体験をしました。操作方法を勉強した後、自走したりペアになり介助し合ったり。段差の介助では「けっこう介助されるってこわいな」との意見が多かったです。体験後の感想では、車椅子の勉強で学んだ沢山の気づきを積極的に話してくれました。



播磨南高校

3年生が受講する選択科目に「総合ボランティア」があります。今年度は受講者10名で、毎回和気あいあいとした雰囲気の中進めます。

4月～9月までの期間で週に2回「ボランティアとは何か」をテーマに、様々なプログラムに挑戦しました。図書館での読み聞かせ、自己紹介文の点訳、車椅子体験などなど。

今年度初の試みは、「子育て支援ボランティア」をテーマとして、実際に子ども達を学校へ招待し交流するという内容です。

NPO法人みんなでネットワークういっくす播磨の米津さんに講師として来ていただき、生徒達と楽しい計画を立てていただきました。授業が終わった後の感想は、「将来子どもと関わる仕事がしたいので、子ども達と交流できたことは良い経験になった」「子ども達に喜んでもらえて本当に良かった」など、貴重な体験となった様子。

ボランティア活動は今まであまりしたことがないという生徒もいましたが、ボランティア活動をとおして自分自身も大きく成長することも学んだようです。

「またボランティアしてみたい!」と嬉しい言葉もたくさん聞くことができました。



生徒達が素敵な招待状を作りました!
当日は子ども達も大喜びです。



「子育て支援ボランティア」の授業
子ども達を学校に招待しましょう!



播磨西小学校・播磨南小学校

播磨西小学校では5年生、播磨南小学校では3年生がガイドヘルプの体験をしました。南小学校には視覚障がい者の山本須美子さんにお越しいただき、普段の生活のことやみんなからの質問に答えていただきました。

説明を聞いた後、二人一組のペアになりアイマスクをしているお友達をガイドしました。ガイドされた生徒は、「階段がこわかった」「なるべく障害物に当たらないよう中央を歩くようにした」と感想を述べると、ガイドする生徒は「階段の終わりを事前に伝えるようにした」と配慮しながら頑張っただけで体験できた様子。最後は「やっぱり階段は手すりがついているほうが安心だと思う」など体験してみて感じたことを話し合いました。



播磨西小学校



播磨南小学校

蓮池小学校

4年生が手話サークルはりまの方々から手話を学びました。

「この言葉は手話でどうやって表現するの?」など、子ども達は積極的に質問していました。授業の中では手話のあいさつ表現だけでなく、ジェスチャーゲームも体験。

最後はみんなで「手のひらを太陽に」を覚えてたての手話をしながら元気いっぱい唄ってくれました。



手話をしながら唄いました!
もっと手話の勉強をしてみたいな~。

「福祉教育指定校」には、皆様からいただいた赤い羽根の共同募金の一部を助成しております。

福祉学習担当者より☆

桃の節句も過ぎ、春色の深まりをにわかを感じる頃となってまいりました。

本年度も無事、播磨町の各小学校、高校での福祉学習を行うことができました。講師として生徒たちのために来ていただきましたボランティアグループの方々やご協力いただきました皆さま、本当にお世話になりました。改めてお礼申し上げます。

さて、社協では学校と連携しながら、毎年福祉学習を通して生徒たちに「福祉とは何か」を考える時間を設けております。手話や点字、車椅子など実際に体験してみることで他者を思いやる心や新たな発見にもつながることでしょう。

福祉の学びを深めてもらうためにも、今後より充実した福祉学習の実施を目指したいと思います。